

Title	米国ワシントン大学ビジネスプランコンテストとの連携による新産業創造
Author(s)	永井, 千秋; 江藤, 洋子
Citation	年次学術大会講演要旨集, 17: 39-42
Issue Date	2002-10-24
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/5936
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	一般論文

米国ワシントン大学ビジネスプランコンテストとの 連携による新産業創造

○永井千秋（新産業創造研究機構），江藤洋子（兵庫県）

1. はじめに

兵庫県は、米国ワシントン州と姉妹州関係にあり、経済、科学技術など様々な分野で協力をを行っている。その一環として、兵庫県・ワシントン州ベンチャービジネス振興事業を展開しているが、その内、提案型起業家支援事業を、平成13年度より開始しており、その概要について紹介する。

2. 提案型起業家支援事業

1) 事業概要

ワシントン州のワシントン大学は、西海岸で最も古い歴史を有する大学である。同学のMBA コースでは、毎年春先にビジネスプランコンテストが開催されており、学生の起業家精神を鼓舞する一大イベントとなっている。

本ビジネスプランコンテストに兵庫県がスポンサーとして参画し、日本向きの優秀なビジネスプランに兵庫県知事賞を授与し、提案者を兵庫県に招聘する。提案者と県内企業・投資家などとの面談を通じて、ビジネスプランの実現のための課題解決など図り、提案者の起業を支援する。

知事賞対象のビジネスプランのテーマについては、兵庫県が成長産業分野としている、①医療・福祉、②生活文化、③情報通信、④環境・エネルギー、⑤新製造・新素材、⑥輸送・物流、⑦ビジネスサポートに関連するものとしている。

2) ワシントン大ビジネスプランコンテストの概要

毎年少しづつ改正されている点もあるが、概略は以下の通りである。

I. ルール

- ①提案資格：ワシントン州の大学に籍をおくものが提案者に含まれること
- ②ビジネスプランは、在学中の学業を通して生まれたものであること
- ③ビジネスプランコンテストでは、学生と学生以外のチームメンバー4人が審査員などの質疑に対応すること

II. スケジュール

- ①ビジネスプラン提出期限：4月上旬
- ②スクリーニングラウンド（書類選考）：4月下旬、約30件に絞り込む
- ③インベストメントラウンド：5月中旬

審査員が、1000ドル（仮）を各チームに投資、投資額上位16チームがロングプレゼ

ンテーションラウンドへ進出

④ロングプレゼンテーションラウンド:5月下旬

16チームが自ら起業経験のある審査員8名の前でプレゼンを実施し、4チームがファイナルラウンドへ

⑤ファイナルラウンド:5月下旬(ロングプレゼンテーションラウンドの午後)

Ⅲ. 賞金

優勝チーム約 2.5 万ドル、決勝進出チーム各1万ドル、その他アイデア賞など

Ⅳ. 審査員など

インヴェストメントラウンドの審査員(2002年度実績 約100名)は、本コンテストに資金面で寄付をすれば資格ができ、以下のカテゴリーとなっている模様

①イノベーター:年間1万ドル以上寄付

②スポンサー:年間2500ドル以上寄付

③パートナー:年間1000ドル以上寄付、但しビジネスプランへのアクセスのみ

3)提案型起業家支援事業の概要

本事業は、平成 12 年度の準備作業から継続して(財)新産業創造研究機構が兵庫県から受託して実施している。

兵庫県知事賞は、①起業に必要な事業化検討を行うための賞金(30万円/チーム)、②チーム代表1名の神戸までの往復航空運賃及び③滞在費(最大 15 日間)から構成されている。

本事業のスキームを図1に示す。事業は毎年以下の手順で進めている。

①1～2月:兵庫県として提案してほしいビジネスプランの分野やテーマと兵庫県のビジネス環境などを、シアトルで学生に対する説明会を開催、ビジネスプラン提案を呼びかける。

②5月:ビジネスプランコンテストに審査員として参画し、兵庫県知事賞候補を抽出する。

③5～6月:知事賞候補ビジネスプランについて、県内の有識者などにも意見を聞き、兵庫県知事賞を決定。現地表彰式を行う。

④9～12月:知事賞受賞者を神戸に招聘し、企業訪問などを通して、彼らのビジネスプランを兵庫・神戸で実現するための課題解決などを図る。

3. 提案型起業家支援事業の実績

1)2002年度

以下の3チームを兵庫県知事賞を授与した。各々のチーム代表者が2001年9月～11月にかけて兵庫県に来訪し、企業訪問などを行った。

①Evicon

- ・チーム代表:Michelle Wong
- ・マイカーの後部ウィンドウにフルカラー広告メッセージを載せるビジネス。マイカードライバーの運転経路などを精査し、載せる広告を決定し契約する。
- ・2001年9月来訪、地域の起業家、広告代理店などを訪問の他、若手起業家との懇談を実施

②Keep in touch

- ・チーム代表:Stacey Ellingson
- ・家庭用デジタル壁掛けカレンダーの提案、各人が持つ携帯情報端末以外に家庭としての情報共有カレンダービジネスを提案。
- ・2001年9月来訪、関西の大手家電メーカー、広告代理店などを訪問の他、若手起業家との懇談などを実施

③Encaputure Sports

- ・チーム代表:Mike Keigley
- ・マラソン、トライアスロンなどの市民スポーツイベントの完走証、写真などをインターネットを通して契約者に供給するビジネスを提案
- ・2001年11月来訪、広告代理店、若手起業家との懇談の他、兵庫・神戸の起業家向けの融資・投資家とのお見合いの場の「ベンチャーマーケット」でもプレゼンを実施した。

2)2002年度

本年5月にワシントン大学で開催されたビジネスプランコンテストの結果、以下の3チームに兵庫県知事賞を授与することが内定している。

受賞者は、本年9月以降兵庫県に来訪し、候補企業などの訪問を通して、ビジネスプランの実現を図って行く予定。

①Micro Green Polymers

- ・チーム代表:Greg Branch
- ・溶剤を使用せず、製造工程で有害ガスの発生しない環境にやさしいポリマーシート製造と当該シートの住宅建材などへの利用ビジネスを提案
- ・2002年9月下旬来訪予定

②Cogelix

- ・チーム代表:Dennis Luo
- ・ガン治療の際、放射性物質を含有した熱硬化性ゲルを用いることにより放射線治療を効果的に行うビジネスを提案、米国でFDA認可活動実施中。ワシントン大学ビジネスプランコンテスト最優秀賞(Grand Prize)受賞。
- ・来春草々来訪予定

③International Fit

- ・チーム代表: Veronica Cavillo
- ・スキャナーで体型データを採寸、データをインドに送付し低価格で衣服製造を行うビジネスを提案
- ・今年度末に来訪予定

4. あとがき

米国ワシントン大学との連携によるユニークな兵庫県の提案型起業家支援事業を紹介した。昨年度までの提案のほとんどは、IT(情報技術)関連が多かったが、ワシントン大学では自然科学系学部での研究成果の事業化に主眼を置くべく方針を変更した。2001年度と2002年度の兵庫県知事賞受賞テーマを比較すると傾向がわかる。米国の大学が学部一体となって大学の「知」を事業化しようとする姿勢をかいま見ることが出来る。

また、ビジネスプラン自体も、学生の考えることだからと侮れないもので、資金計画、市場開拓なども充分配慮した優秀なものも多く、起業に対する日米風土の差を感じる。

本年度が我々の実質2年目であるが、未来のビル・ゲイツを発掘し、日米双方でその事業化を図っていく心意気で事業を推進する所存であり、諸先輩各位のご指導・ご鞭撻をお願いしたい。

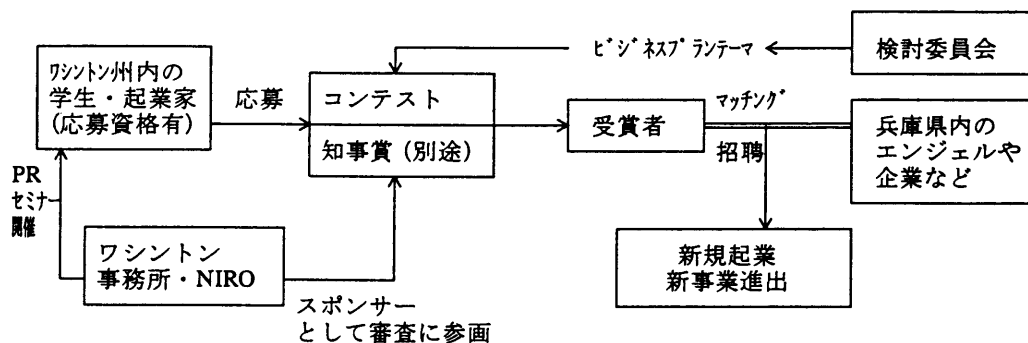


図1 提案型起業家支援事業のスキーム